

# 大阪府

定 数： 22 名

立候補者数： 27 名

※1名辞退により立候補者数を変更しました。(2026年2月24日変更)



氏名 松田 洋平  
氏名ふりがな まつだ ようへい  
都道府県士会 大阪府  
年齢 47  
勤務先名称 葛城病院

#### 日本理学療法協会活動歴

2020年～現在：公益社団法人 日本理学療法士協会 代議員

#### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

2017年～2020年：公益社団法人 大阪府理学療法士会 保健福祉局 担当理事  
2021年～2024年：公益社団法人 大阪府理学療法士会 職能局 担当理事  
2021年～現在：公益社団法人 大阪府理学療法士会 地域包括ケア推進委員会  
2025年：公益社団法人 大阪府理学療法士会 大阪・関西万博実行委員会 委員長

#### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

#### 立候補の趣旨

私はこれまで、大阪府理学療法士会において保健福祉局および職能局の理事を歴任し、行政との連携強化や職能拡大の推進に尽力してまいりました。また、2020年からは日本理学療法士協会の代議員として、本会の意思決定プロセスに携わっております。現在は地域包括ケア推進委員として地域リハビリテーションの充実に努めるとともに、2025年には大阪・関西万博実行委員会の委員長として、理学療法士の専門性を広く社会に発信する重責を担っております。これまでの局長・理事経験で培った組織運営の知見と、現場の声を反映させる行動力を活かし、会員の皆様の権利擁護はもとより、理学療法士のさらなる地位向上および社会貢献の推進に全力で取り組んでまいります。



氏名 西川 篤史  
氏名ふりがな にしかわ あつし  
都道府県士会 大阪府  
年齢 43  
勤務先名称 野崎徳洲会病院

#### 日本理学療法協会活動歴

日本理学療法士協会 大阪府代議員 (2019～)

#### 都道府県理学療法士(協)会活動歴

大阪府理学療法士会 東支部代議員 (2018～)  
大阪府理学療法士会 組織部部員 (2019～2022)  
大阪府理学療法士会 組織部副部長 (2023～)  
第30回大阪府理学療法士会学術大会 会場部部員  
北河内ブロック介護技術講習会 代表 (2014～2018)  
第34回大阪府理学療法学術大会 準備委員長

#### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

管理運営ガイドライン作成メンバー

#### 立候補の趣旨

この度、代議員に立候補させていただきました、医療法人徳洲会野崎徳洲会病院の西川篤史と申します。  
現在は関連施設に於いて事務職として管理・運營業務に携わっております。  
元々、急性期病院に於いて部署責任者として勤務しており、リハビリテーション業務だけでなく病院全体の研修などにも関与しておりました。また、大東四條畷におけるリハ職種の連絡会にも協力することで、多職種を繋ぐネットワークづくりにも参加しております。士会事業としては、組織部にて各市区町村士会の充実のために活動しております。総合事業への関りも継続しており、地域の現状などを知る機会も引き続き作るように努力しております。  
急性期での集中的なりハと地域リハという二つの現場と協会を繋ぎ、地域包括ケアシステムの強化を進めていくためにも、代議員に立候補いたしました。  
療法士としての意見だけでなく、施設運営や管理などの立場からの意見を伝えていきたいと考えています。



氏名 都留 貴志  
氏名ふりがな つる たかし  
都道府県士会 大阪府  
年齢 42  
勤務先名称 市立吹田市民病院

### 日本理学療法協会活動歴

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

2009年～2010年	府士会	障害者保健福祉部	部員
2017年～2018年	府士会	調査資料部	副部長
2018年～2023年	府士会	北支部	代議員
2020年 第32回	大阪府理学療法学会	大会	準備委員長
2020年～2023年	生涯学習センター	臨床実習教育部	部員・部長
2023年～現在	生涯学習センター		理事

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

2024年～現在 日本理学療法教育学会 ガイドライン委員会 班長

### 立候補の趣旨

この度、日本理学療法士協会の代議員に立候補いたしました、都留貴志と申します。私はこれまで約10年にわたり、大阪府理学療法士会および大阪府理学療法士会生涯学習センターの活動に携わってまいりました。現在は、生涯学習センターにおいて事務局担当理事を拝命し、学術事業を中心とした組織運営に関わっております。

生涯学習センターは、理学療法士が生涯にわたり学び続けることを支援することを目的とした組織です。日々の活動を通じて、生涯学習に関する制度的な課題や、臨床・教育現場における実際の困難や工夫に数多く触れてきました。

特に、来年は新生涯学習システムへ移行後、初めての「登録理学療法士」更新年を迎えます。制度開始から一定期間が経過する中で、更新要件の理解、学習機会の確保、現場の負担感など、解決すべき課題が顕在化しつつあると感じています。こうした課題は、机上の制度設計だけでは把握しきれず、現場の声を丁寧にすくい上げることが不可欠です。

大阪府の代議員として、府士会員の皆様が感じておられる生涯学習に関する不安や負担、現場での実情を日本理学療法士協会への確に届け、より実効性のある制度運用につなげていく役割を果たしたいと考え、立候補を決意いたしました。

大阪の代表であることへの自覚と責任を持ち、会員の皆様の声に真摯に耳を傾けながら、誠実に職責を全うしてまいります。

何卒ご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



氏名 本田 憲胤  
氏名ふりがな ほんだ のりつぐ  
都道府県士会 大阪府  
年齢 49  
勤務先名称 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院

### 日本理学療法協会活動歴

2024年3月 日本理学療法士協会 代議委員

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

2017年4月 大阪府理学療法士会生涯学習センター 学術大会部 部長  
2019年4月 大阪市北区理学療法士会 理事 兼 副会長  
2023年7月 第35回大阪府理学療法学会学術大会 大会長  
2023年8月 大阪府理学療法士会生涯学習センター 局長  
2024年6月 大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事  
2025年5月 大阪市北区理学療法士会 会長  
2025年6月 大阪府理学療法士会生涯学習センター 副理事長

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

日本理学療法士協会代議員選挙にあたり、大阪から立候補いたしました本田憲胤です。私はこれまで、急性期医療の最前線で臨床に携わると同時に、生涯学習センターの活動を通じて、教育と人材育成に力を注いでまいりました。現在、理学療法士を取り巻く環境は、急性期から在宅医療へと大きく広がり、求められる役割も高度化・多様化しています。この変化の中で最も重要なのは、若手が安心して学び、成長し、地域へ羽ばたいていける「育つ土壌」を全国に整えることだと考えています。生涯学習は単なる研修の場ではなく、臨床と研究、病院と地域、世代と世代をつなぐ基盤です。大阪で培ってきた急性期医療の知見と、地域連携・教育の実践を、本会の制度設計や議論の場に反映させ、現場に根ざした実効性のある生涯学習と人材育成の仕組みづくりに貢献したいと考えています。会員一人ひとりの声に耳を傾け、理念と実務の両立を大切にしながら、次世代につながる理学療法士会の発展に全力で取り組む決意です。どうか皆様のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



氏名 橋本 貴之  
氏名ふりがな はしもと たかゆき  
都道府県士会 大阪府  
年齢 48  
勤務先名称 近畿リハビリテーション学院

### 日本理学療法協会活動歴

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

大阪府士会  
令和6年・7年度 大阪府理学療法士会 北支部 代議員  
令和7年度 大阪府理学療法士会 北支部 新人症例発表会 事務局長  
令和6年度 大阪府理学療法士会 北支部 新人症例発表会 実行委員  
摂津市会  
令和7年度 摂津市理学療法士会 理事 学術局 部長  
令和6年度 摂津市理学療法士会 理事 学術局 局長  
令和5年度 摂津市理学療法士会 学術局 部長

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

私は、令和6年・7年度に大阪府理学療法士会北区代議員を務めさせていただきました。令和8年・9年度におきましても、代議員として現場で働く理学療法士の声を丁寧に汲み取り、現場と組織をつなぐ橋渡し役を担いたいと考えております。個人の意見を主張するのではなく、代表する皆さまの声を最優先し、共に行動する姿勢を大切にしていきたいと思います。

2025年度には大阪府士会北支部新人症例発表会の主幹役員（摂津市会）を務め、運営に携わりました。こうした経験と、教育・研究活動を通じて培った論理的・俯瞰的な視点を生かし、現場の多様な意見を整理し、組織へ的確に届けていきたいと考えております。最近では、令和7年度補正予算により、理学療法士を含む療法士1人当たり6万円規模の賃上げ支援が発表されました。本施策は、現場のモチベーション向上や人材定着にもつながる重要な取組みであり、このような施策が現場に正しく理解され、実感につながる事が重要だと考えております。

代議員として施策を直接実行する立場ではありませんが、情報共有と意見の橋渡しを通じて、取組みが現場に着実に浸透するよう努めてまいります。今後も皆さまの声を真摯に受け止め、理学療法士の未来に資する活動に誠心誠意取り組んでまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。



氏名 高尾 弘志  
氏名ふりがな たかお ひろし  
都道府県士会 大阪府  
年齢 33  
勤務先名称 大阪急性期・総合医療センター

### 日本理学療法協会活動歴

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

2017年－2021年	大阪府理学療法士会	障害者保健福祉部 部員
2018年－2024年	大阪府理学療法士会	中支部代議員
2021年－2022年	大阪府理学療法士会	災害対策部 部員
2021年－2024年	住吉区理学療法士会	公益事業部 部長
2023年－2024年	大阪府理学療法士会	災害対策部 副部長
2023年－現在	大阪府理学療法士会	政策特別委員会 委員
2025年－現在	大阪府理学療法士会	職能局担当理事

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

この度、日本理学療法士協会代議員選挙に立候補いたします大阪急性期・総合医療センターの高尾弘志と申します。  
大阪府理学療法士会において、公益事業、災害対策、政策提言、職能活動などに携わり、現場と組織、行政をつなぐ立場で活動してまいりました。

近年、理学療法士協会に対する関心低下や会員数の減少が全国的な課題となっています。生涯学習制度や各種事業が進められている一方で、その内容や意義が十分に会員へ伝わっていない現状があり、情報や意見の伝達に課題があると感じています。

代議員として、以下の点に重点的に取り組みます。

- 1) 協会の取り組みや意思決定の過程がしっかりと都道府県士会に共有され、個々の会員に分かりやすく伝わるよう努めます。
- 2) 所属するブロック及び都道府県士会の理学療法士から幅広く意見を伺い、現場で働く理学療法士の意見や課題を協会本部へ届けます。
- 3) 内閣府や関係省庁に対する協会の政策提言の進捗や背景を注視し、理学療法士の職務環境や生活の質向上につながるよう、現場の視点から助言・支援を行います。

ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



氏名 山川 智之  
氏名ふりがな やまかわ ともゆき  
都道府県士会 大阪府  
年齢 63  
勤務先名称 南大阪病院

### 日本理学療法協会活動歴

2009年6月	～	現在に至る	日本理学療法士協会代議員
2023年12月	～	2025年12月	障がい者団体助成事業選考委員会委員
2016年3月	～	2024年6月	学校保健・特別支援教育理学療法部会員
2024年1月		第4回学校保健・特別支援教育理学療法部会研究大会	大会長

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

1999年6月	～	2015年5月	理事（事務局，社会局，ブロック局）
2015年1月	～	2015年5月	副会長（兼社会局長）
2015年6月	～	2019年5月	会長
2019年6月	～	現在に至る	監事

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

私は、およそ30数年大阪府理学療法士会の活動に参加させていただきました。その中で、事務管理の行う事務局担当理事や対外的な事業に主眼をおいた社会局長、会長を経て、現在は監事をお受けしております。こういう活動を通して理学療法士と社会という観点から多くのことを学んだと日々感じております。理学療法士の分野は今でも社会の中で必要な職種ではありますが、過去には一般感覚とのずれを感じることも多くありました。我々にとって大切な臨床家の価値観だけでなく、行政・他団体との関係づくり、政治的な活動や業務を行う上でのマネジメントなど社会的な対応が求められる業界であります。このように社会や行政などの関係性が深まる中、今まで以上に日本理学療法士協会には、理学療法士業界の羅針盤として活躍していただくなくてはなりません。診療報酬改定の対策や理学療法士の地位向上に努めるとともに、14万人を超える会員数を誇る協会の役割がより大きくなっていることはいまでもなく、それに応える組織運営の課題は大きくなると考えております。この協会へ大阪府士会の方々の思いを伝える大阪府士会選出の代議員の役割もまたより重要となっております。そこでこの度、私はさまざまな経験を生かして理学療法士の発展に寄与すべく、協会代議員選挙に立候補いたしました。何卒、多くの皆様方のご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



氏名 岩見 大輔  
氏名ふりがな いわみ だいすけ  
都道府県士会 大阪府  
年齢 50  
勤務先名称 永山病院

### 日本理学療法協会活動歴

平成28年4月～現在 公益社団法人日本理学療法士協会 代議員

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成27年6月～平成29年6月 公益社団法人大阪府理学療法士会 新人教育部 部長  
平成29年6月～平成31年5月 公益社団法人大阪府理学療法士会 理事  
令和元年6月～令和3年6月 公益社団法人大阪府理学療法士会 事務局長  
令和3年6月～令和7年6月 公益社団法人大阪府理学療法士会 副会長兼事務局長  
令和7年6月～現在 公益社団法人大阪府理学療法士会 副会長

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

私は平成29年度より公益社団法人 大阪府理学療法士会（以下、府士会） 事務局担当理事として、また、令和元年度より事務局長、令和3年度より副会長兼事務局長、令和7年度より副会長として府士会の運営に携わっております。  
府士会と市区町村理学療法士会、（一社）大阪府理学療法士会生涯学習センターと協力しながら組織力強化と我々府士会が地域社会の期待に応えられる職能団体になるよう尽力いたします。  
また、府士会の在会会員数は8000名を超えて東京都に次いで2番目に大きな組織です。毎年600名程度の新入会の会員を迎えますが、その代わりに退会者と休会者の増加が問題となっております。協会と共に退会者・休会者の問題に取り組み、会員の皆様と日本理学療法士協会の橋渡しの一役を担うべく代議員に立候補いたします。  
会員の皆様方のご支援をよろしくお願い申し上げます。



氏名 加納 一則  
氏名ふりがな かのう かずのり  
都道府県士会 大阪府  
年齢 55  
勤務先名称 市立吹田市民病院

### 日本理学療法協会活動歴

令和2年度～ (公社)日本理学療法士協会 代議員

### 都道府県理学療法士(協)会活動歴

平成12年度～平成15年度 (公社)大阪府理学療法士会 臨床実習部 部員  
平成16年度～平成21年度 (公社)大阪府理学療法士会 臨床実習部 部長  
平成30年度 第30回大阪府理学療法学会 準備委員長  
令和元年度～ (公社)大阪府理学療法士会 事務局担当理事

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

理学療法を取り巻く環境は、地域包括ケアの深化、働き方の多様化、DXの進展など、大きな転換期を迎えています。こうした変化の中で、府士会員が安心して専門性を発揮し続けられる組織づくりこそ、今後の協会に求められる最重要課題だと考えています。

私はこれまで、(公社)大阪府理学療法士会の理事として主に市区町村士会の設立、運営を通して現場の課題に向き合い、会員の声を制度や仕組みに反映させる取り組みを続けてきました。代議員としての6年間では、地域組織の強化や会員支援策の検討に携わり、現場と中央をつなぐ役割の重要性を強く実感してきました。

これからの代議員としては、会員が「参加しやすい」「意見を届けやすい」協会運営の実現、若手・中堅が活躍できるキャリア支援の強化、地域で求められる理学療法の価値を可視化し、府民に還元する仕組みづくりといった“未来の協会像”を具体的に形にしていけることが使命だと考えています。

府士会員の皆様が誇りを持って活動できる環境をつくり、理学療法の専門性を社会により広く届けるために、引き続き代議員として責任を果たしてまいります。



氏名 三原 修  
氏名ふりがな みはらおさむ  
都道府県士会 大阪府  
年齢 66  
勤務先名称 りんくう永山病院

### 日本理学療法協会活動歴

日本理学療法士協会代議員（平成19～：19年）  
平成19年～現在に至る（内1期間欠落）

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

厚生部長（平成3・4年度：2年）  
平成3年4月～平成5年4月  
ブロック局担当理事（平成17・18年度：2年）  
平成17年6月～平成19年5月  
ブロック局長（平成19～28年度：10年）  
平成19年5月～平成29年6月  
監事（平成29年度：9年）  
平成29年6月～現在に至る

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

立候補趣旨  
私は、大阪府理学療法士会において10年間理事の役職を  
拝命し、平成29年度より監事として、今までの経験を活か  
して、府士会活動に携わっております。大阪府理学療法士  
会は、会費の減を行い、生涯学習センターとのさらなる連携  
を行い魅力ある府士会になれるように努力いた  
しております。  
この経験を活かし日本理学療法士協会における、中央と地  
方との役割分担を明確にし、全国に魅力を発信できればと考  
えています。また社会中で活躍できる場を広げ、若い会員が  
協会活動に参加していただけるように活動して参ります。  
公益社団法人大阪府理学療法士会の代表として、より一  
層協会運営に協力させて頂く所存であります。皆様のご支  
援宜しくお願い申し上げます。



氏名 千葉 一雄

氏名ふりがな ちばかずお

都道府県士会 大阪府

年齢 70

勤務先名称 大阪河崎リハビリテーション大学

### 日本理学療法協会活動歴

公社) 日本理学療法士協会 代議員 14年 (2011年～)

### 都道府県理学療法士(協)会活動歴

一社) 大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事長 3年 (2018年～2021年)  
一社) 大阪府理学療法士会生涯学習センター 監事 4年 (2021年～2025年)  
公社) 大阪府理学療法士会 常務理事 7年間 (2011年～2018年)

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

代議員としての議決権ならびに質問事項を以下に列挙しました  
コロナ以降にオンラインオンデマンドなど学習環境が大きく変わりましたが、  
技術習得力が劣悪です。海外では開業権による技術競争やインストラクター  
取得が診療報酬に反映しています。30年後の未来に向け、理学療法士が  
活躍できる未来作りについて質問をしていきます。

1. 組織率の対策問題の見直し要求を行う
3. 女性活躍が進んでいない問題の精査



氏名 米田 浩久  
氏名ふりがな よねだ ひろひさ  
都道府県士会 大阪府  
年齢 59  
勤務先名称 関西医療大学保健医療学部

### 日本理学療法協会活動歴

平成28年6月～現在 日本理学療法士協会代議員

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成27年6月～令和元年6月 大阪府理学療法士会理事  
令和元年4月～現在 熊取町理学療法士会会長

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

この度、日本理学療法士協会代議員選挙に立候補させて頂きました関西医療大学の米田浩久でございます。2022年に始まった登録理学療法士制度は、理学療法士が幅広く研鑽を積んだジェネラリストであることを示して国民からの信頼を得ることを目的としており、5年ごとの更新制となっております。本制度は、協会に入会した会員が臨床や学術的な意義を適える目的で認定理学療法士や専門理学療法士の取得に臨む際に必須の制度であり、地域包括ケアシステム関連事業を担当する際に必須となる地域ケア会議、介護予防の両推進リーダーを取得する際にも必要となる制度でもあります。会員個人のキャリアアップや地域の活動への参加の基盤となる登録理学療法士制度は、制度開始以来、来年4月に初めての更新を迎えます。私が会長をしております熊取町理学療法士会では、会員のための各種研修会や講習会を企画し、参加を募っていますが、特に若い会員が順調に生涯学習制度を履修し、滞りなく登録理学療法士を更新できるかについては甚だ疑問に感じております。登録理学療法士の取得が困難となっている要因は様々かと思いますが、最大の要因は後期研修で必須となるE領域別研修（症例検討会）の取得にあるのではないかと考えます。生涯学習制度の建付けがポイント制となっており、eラーニングや単発の研修会（多くはオンライン）の受講によって、単にポイントを積み重ねることが目的となっている現状のように感じますが、このような状況において臨床推論や治療経験を含めた総合的な臨床力や統合を要する症例報告が本当に可能であるのか、大変憂慮しています。また、登録理学療法士制度に係るポイントの取得については、すべて受益者負担として会員の自己負担であり、協会年会費減免の検討や生涯学習制度の診療報酬等の紐づけの検討もなされず、受講者の経済的負担は如何ばかりかと危惧しています。生涯学習制度が真に会員へ成長機会を与える制度となるよう、協会年会費の問題も含めて、改めて生涯学習制度の在り方を問い、引き続き会員にとって有益な制度となるよう強く訴えていきたいと思っております。



氏名 鈴木 俊明  
氏名ふりがな すずきとしあき  
都道府県士会 大阪府  
年齢 63  
勤務先名称 関西医療大学保健医療学部

#### 日本理学療法協会活動歴

平成11年4月～平成16年3月 (社) 日本理学療法士協会 調査部部長  
平成27年～現在 (公社) 日本理学療法士協会 代議員

#### 都道府県理学療法士(協)会活動歴

平成12年4月～平成23年5月 大阪府理学療法士協会 泉州ブロック ブロック長  
平成25年8月～平成29年6月 大阪府理学療法士協会 泉州ブロック ブロック長  
平成29年6月～令和3年5月 (公社) 大阪府理学療法士会 副会長  
平成29年6月～令和5年5月 (公社) 大阪府理学療法士会 理事  
令和5年6月～現在 (一社) 大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事  
令和7年6月～現在 (一社) 大阪府理学療法士会生涯学習センター 副理事長

#### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

平成25年12月～令和3年3月 日本理学療法士協会 日本基礎理学療法学会  
運営幹事  
令和3年6月～令和3年9月 (一社) 日本基礎理学療法学会 評議員  
令和3年10月～現在 (一社) 日本基礎理学療法学会 理事

#### 立候補の趣旨

平成27年度から、(公社) 日本理学療法士協会 代議員として活動させていただいております。この度、引き続き代議員として立候補させていただきたく存じます。私は現在、(一社) 大阪府理学療法士会生涯学習センター及び(一社) 日本基礎理学療法学会の理事として会員の学術面の向上を目標として関与させていただいております。そのため、今後も理学療法士に必要な学術面での課題を代議員として協会に働きかけます。皆様のご賛同をよろしくお願い申し上げます。



氏名 中田 貴士  
氏名ふりがな なかた たかし  
都道府県士会 大阪府  
年齢 36  
勤務先名称

### 日本理学療法協会活動歴

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成24年～平成31年 京都府理学療法士会 生涯学習部部員  
令和3年～令和7年 大阪府理学療法士会 災害対策部部員  
令和7年～現在 大阪府理学療法士会 災害対策部副部長

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

この度、代議員選挙に立候補致します中田と申します。  
大阪府理学療法士会での活動としては、主に災害対策部にて研修の企画・運営を中心に取り組んでおります。  
仕事をしていくなかで、昨今の理学療法士を取り巻く環境の変化に対して、若手理学療法士が希望を持って働く環境を作っていくにはどうしたら良いかということが、課題としてみえてきました。  
このような課題を解決するために、少しでも協会と現場との橋渡しを出来ればと考えております。  
微力ではありますが、皆様の声を届けるために尽力いたしますので、皆様からご支援を賜りたく存じます。



氏名 加藤 良一  
氏名ふりがな かとう りょういち  
都道府県士会 大阪府  
年齢 46  
勤務先名称 大阪公立大学医学部附属病院

### 日本理学療法協会活動歴

2020年～ (公社)日本理学療法士会 代議員

### 都道府県理学療法士(協)会活動歴

2013～2019年 (公社)大阪府理学療法士会 財務部長  
2018年7月 第30回大阪府理学療法学会 事務局長  
2021年1月 第60回近畿理学療法学会 総務財務部長  
2019年～ (公社)大阪府理学療法士会 理事  
2025年～ (公社)大阪府理学療法士会 事務局長

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

私は病院リハビリテーション部で管理者として勤務するとともに、これまで大阪府理学療法士会の活動にも携わってきました。現場と組織の両方に向き合う立場だからこそ、理学療法士を取り巻く環境の変化と、協会の存在意義について強い問題意識を持っています。とりわけ協会組織率の低下には深い危機感があります。これは単なる会員数や加入率の問題ではなく、理学療法士全体の社会的影響力の低下に直結するからです。診療報酬制度や医療政策、他職種との役割分担などは、個人や一施設では動かせません。専門職として社会に意見を届け、正當に評価されるためには、組織としての発信力と交渉力が不可欠です。組織率の低下は、その基盤を弱体化させてしまいます。

代議員として、私は二つの役割を大切にします。

1. 協会運営と意思決定への責任ある関与

協会の方針や意思決定が短期的・内向きに偏らず、理学療法士の将来と社会的評価の向上につながるかを確認し、責任をもって関与します。

2. 現場の声を社会的影響力へつなぐ橋渡し

代議員制のもとで届きにくい現場の声を丁寧に拾い上げ、協会活動と発信に反映させます。協会が社会的影響力を支える基盤であり続けることが、組織率回復への第一歩だと考えています。

理学療法士の未来に希望をつなぐため、尽力してまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。



氏名 田近 翔  
氏名ふりがな たぢか しょう  
都道府県士会 大阪府  
年齢 36  
勤務先名称 (株)米谷暮らし研究所

#### 日本理学療法協会活動歴

#### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

泉佐野市田尻町理学療法士会保健福祉副部長（令和5年4月1日～令和7年3月31日）  
泉佐野市田尻町理学療法士会保健福祉部長（令和7年4月1日～現在に至る）

#### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

#### 立候補の趣旨

府士会活動に積極的に参加させていただき、  
全国のことが知りたくなることがきっかけです。  
普段から地域の予防分野で活動しており、  
これからさらに重要になる地域包括ケアシステムの構築にむけて、  
大阪府や近隣市町村で貢献したいと考えています。  
座右の銘は「何とかなる」です。  
何とかなる！の精神で何とかしていきます！



氏名 米谷 元希  
氏名ふりがな こめたに もとき  
都道府県士会 大阪府  
年齢 51  
勤務先名称 (株)米谷暮らし研究所

#### 日本理学療法協会活動歴

2019年～現在 日本理学療法士協会代議員

#### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

2020年～現在 大阪府理学療法士会南支部代議員  
2020年～現在 地域包括ケア推進委員  
2020年～現在 泉佐野田尻理学療法士会理事

#### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

#### 立候補の趣旨

「集まることは始まりであり  
共にいることは進歩であり  
共に働くことは成功である。」（ヘンリー・フォード）

誰か一人の声ではなく、全員の知恵を結集できる組織を目指します。  
皆様と運営の「架け橋」となり、一歩ずつ確実な進歩を形にしていきます。



氏名 射場 一寛  
氏名ふりがな いば かずひろ  
都道府県士会 大阪府  
年齢 55  
勤務先名称 清恵会 在宅事業部

#### 日本理学療法協会活動歴

2022年～現在 協会代議員

#### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

大阪府理学療法士会生涯学習センターでの活動  
2019年～2023年 理事  
2023年～2025年 副理事長  
2025年～現在 理事長

#### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

#### 立候補の趣旨

この度、協会代議員に立候補しました射場でございます。  
協会の課題の1つとして、「会員の組織率向上」があります。入会率が低迷し、加えて休会・退会者が後を絶ちません。特に入会して5年以内の前期研修・後期研修の履修期間中に退会するか悩んでおられる会員が多いようです。  
組織に加入しなければ、当然、協会が設計した生涯学習制度から離れることとなりますので、専門能力の維持・向上の機会に格差が生じる可能性が出てきます。結果、同じ資格であっても専門能力の格差が生じ、職業全体の社会的な信頼性の低下につながってくるかもしれません。  
大阪府理学療法士会生涯学習センターの代表理事としての立場から、生涯学習が会員としてのメリットにもつながるように、府士会員の皆様からいただいた声を協会へ届けていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



氏名 守安 久尚  
氏名ふりがな もりやす ひさなお  
都道府県士会 大阪府  
年齢 57  
勤務先名称 大阪晴愛病院

### 日本理学療法協会活動歴

平成26年4月～ 令和3年3月	日本理学療法協会 代議員
令和5年～現在	日本理学療法協会 代議員

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成17年～	大阪府理学療法士会	生涯学習部員
平成19年～	大阪府理学療法士会	高齢者保健福祉部員
平成21年～	大阪府理学療法士会	ブロック推進部員
平成23年～	泉州ブロック	ブロック長
平成25年～	大阪府理学療法士会	理事 保健福祉局担当
平成27年～	大阪府理学療法士会	理事 保健福祉局担当
平成29年～	大阪府理学療法士会	理事 保健福祉局長
令和1年～	大阪府理学療法士会	理事 職能局局长
令和3年～	大阪府理学療法士会	理事 副会長兼職能局局长
令和5年～現在	大阪府理学療法士会	理事 副会長兼職能局局长

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

現在、我々を取り巻く医療・介護・福祉の環境は大きな転換期にあります。私はこれまで、大阪府理学療法士会の副会長兼職能局長として、会員の皆様が直面する現場の課題解決に努力してまいりました。また、日本理学療法士協会の代議員を4期8年務め、職能団体の意思決定プロセスを深く理解し参画してきました。この経験を止めることなく、大阪の会員の意見を、大阪府代表として協会に届けるため立候補をいたしました。大阪は全国でも有数の会員数を抱える組織です。副会長として培ったネットワークを活かし、若手からベテランまで、現場で働く理学療法士が抱える悩みや要望を吸い上げ、協会の運営方針や国への政策提言に確実に反映させます。大阪の会員の皆様の期待を背負い、理学療法士の職域を守り、そして広げるために全力で取り組みます。皆様の貴重な一票をよろしくお願ひします。



氏名 中村 昌司

氏名ふりがな なかむら しょうじ

都道府県士会 大阪府

年齢 58

勤務先名称 葛城病院

### 日本理学療法協会活動歴

平成19年～平成22年	(公社) 日本理学療法士協会	業務推進部
平成24年～現在	(公社) 日本理学療法士協会	代議員
令和4年～令和5年	(公社) 日本理学療法士協会	地域包括ケアシステム推進部会
令和6年～現在	(公社) 日本理学療法士協会	介護予防領域業務推進部会

### 都道府県理学療法士(協)会活動歴

平成23年～平成24年	(公社) 大阪府理学療法士会	事務局担当理事
平成25年～平成28年	(公社) 大阪府理学療法士会	保健福祉局長
平成29年～現在	(公社) 大阪府理学療法士会	副会長
令和元年～現在	(公社) 大阪府理学療法士会	地域包括ケア推進委員長

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

この度、日本理学療法士協会代議員に立候補いたしました。  
私は、大阪府理学療法士会での副会長、および地域包括ケア推進委員会委員長としての活動を通じ、行政との連携や職域拡大に確かな手応えを感じる一方で、組織としては若手・中堅層を中心とした会員離れという深刻な課題を目の当たりにし、強い危機感を抱いております。組織の持続可能性を高めるためには、これまでのよいところは継承しつつもあり方を見直し、会員一人ひとりが帰属意識を持てる組織へと変革しなければなりません。

私は、これまでの地域および協会での活動経験を活かし、組織運営や会費の適正化、そして何より理学療法士の社会的地位向上と処遇改善に直結する意見をしっかりと発言して参ります。「魅力ある協会・士会」を取り戻し、未来の理学療法士が希望を持てる環境を整備するため、代議員として皆様の声を協会へ届ける役割を担わせてください。皆様のご支援をお願い申し上げます。



氏名 浜田 仙子  
氏名ふりがな はまだ のりこ  
都道府県士会 大阪府  
年齢 48  
勤務先名称 大阪晴愛病院

### 日本理学療法協会活動歴

令和6年度～ (公社) 日本理学療法士協会 代議員

### 都道府県理学療法士(協)会活動歴

平成23～24年度 (公社) 大阪府理学療法士会 高齢者保健福祉部 部員  
平成23年～29年度 (公社) 大阪府理学療法士会 泉州ブロック保健福祉部 副部長  
平成30年度 (公社) 大阪府理学療法士会 泉州ブロック保健福祉部 部長  
平成31年度～現在 泉南市理学療法士会 副会長  
令和元年～令和4年度 (公社) 大阪府理学療法士会 南支部代議員  
令和5年度～現在 (公社) 大阪府理学療法士会 事務局担当理事

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

この度、日本理学療法士協会の代議員として立候補させていただきました。  
これまで大阪府理学療法士会の事業運営や理事としての活動に携わる中で、地域で働く理学療法士の皆さまの声を伺い、それを会の運営に反映していくことの大切さを強く感じてまいりました。  
今後も、大阪府の会員の皆さまの思いや現場での声を協会へ届ける役割を果たしていきたいと考えております。  
また、協会および各都道府県士会との連携をより深めることで、大阪府士会のさらなる発展に微力ながら貢献できれば幸いです。  
どうぞ温かいご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



氏名 今奈良 有  
氏名ふりがな いまなら たもつ  
都道府県士会 大阪府  
年齢 37  
勤務先名称 たくみ整形外科

### 日本理学療法協会活動歴

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

平成24年～平成30年 大阪府理学療法士会 泉州ブロック役員  
平成27年～平成28年 大阪府理学療法士会 新人教育部  
平成29年～令和2年 大阪府理学療法士会 総務部  
令和1年～令和4年 泉佐野市・田尻町理学療法士会 学術部長  
令和3年～令和6年 大阪府理学療法士会 総務部 副部長  
令和2年～令和5年 大阪府理学療法士会 代議員  
令和7年～ 大阪府理学療法士会 理事

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

この度、日本理学療法士協会（以下、協会）の代議員に立候補いたしました、今奈良 有と申します。私が協会の代議員に立候補した理由は、近年進んでいる若い理学療法士の会員離れという現状を、何とか変えていきたいと強く感じたからです。私は昨年より、（公社）大阪府理学療法士会（以下、府士会）の理事を拝命しております。理事を引き受けた背景には、若い理学療法士に府士会へ関心を持ってもらい、自らの職能を自ら守れる環境を次世代につなげたいという思いがありました。理事として活動する中で若い世代に府士会の意義を伝えて参加を促していくためには、協会の取り組みや発信が極めて重要であることを強く実感しています。協会と府士会がより連携し、現場で働く理学療法士一人ひとりにとって「身近で意義のある組織」と感じられる存在になることが必要だと考えています。代議員として、府士会会員の声を丁寧に汲み取り、現場の実情や若い世代の思いを協会へ届け、より良い協会運営につながるよう尽力してまいります。



氏名 米元 佑太  
氏名ふりがな よねもとゆうた  
都道府県士会 大阪府  
年齢 36  
勤務先名称 える訪問看護ステーション門真

### 日本理学療法協会活動歴

日本理学療法士協会 代議員 (2020～)

### 都道府県理学療法士(協)会活動歴

大阪府理学療法士会 職能局担当理事 (2021～2023)  
東大阪市理学療法士会 副会長・企画部長 (2019～2023)  
大阪府理学療法士会 医療・介護保険部員 (2019～2021)  
大阪府理学療法士会 代議員 (2018～2021)

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

米元佑太です。2020年より日本理学療法士協会代議員を務めています。

代議員は都道府県単位の選挙区で選出されますが、その役割は特定の地域の意向を代弁することにとどまらず、協会全体を俯瞰し、全国的な視野で議論に参加することが求められます。その前提のもと、これまで会員の皆さまから頂いたご意見を協会へ届けてきました

前回の立候補時に掲げた取り組みの一つが、代議員同士のネットワークづくりです。現在は有志の代議員による連絡網を作成し、意見交換や情報共有、代議員活動の周知、立候補を検討している方への支援などを行っています。規模はまだ小さいものの、地域や立場を超えて議論できる基盤はでき始めています。

一方で、ネットワークを活かした総会への議案提出については、現時点では実現できていません。議案提出には一定数の代議員の賛同と継続的な連携が必要であり、人数や経験の面で、なお時間が必要だと感じています。だからこそ、短期的な成果ではなく、長期的な視点で代議員活動を継続する必要があると考え、今回も立候補しました。

これまでの経験を活かし、現場の声を全国的な議論につなぐ役割として、引き続き代議員を務めたいと考えています。ご理解とご賛同を賜りましたら、米元佑太への一票を、よろしくお願い申し上げます。



氏名 藤井 隆文  
氏名ふりがな ふじい たかふみ  
都道府県士会 大阪府  
年齢 47  
勤務先名称 L a g o m訪問看護ステーション

### 日本理学療法協会活動歴

平成23年度～(公社)大阪府理学療法士会 保健福祉局保健福祉相談部 副部長  
平成25年度～(公社)大阪府理学療法士会 保健福祉局保健福祉相談部 部長  
平成30年度～令和4年度(公社)大阪府理学療法士会南支部 代議員  
令和元年度～(公社)大阪府理学療法士会 職能局公益事業部 部長  
(公社)大阪府理学療法士会 岸和田市理学療法士会 理事・職能局局长  
令和5年度～(公社)大阪府理学療法士会 職能局担当理事  
(公社)大阪府理学療法士会 和泉市理学療法士会 理事

### 都道府県理学療法士(協)会活動歴

第25回・第26回 大阪府理学療法学会 運営局 会場部  
第27回・第28回 大阪府理学療法学会 事務局 総務部

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

私は理学療法士として約25年間、臨床の現場に立ち続けるとともに、大阪府理学療法士会において保健福祉・公益事業・職能活動など多岐にわたる役割を担ってまいりました。地域や行政、他職種と連携する中で、理学療法士が人々の生活や人生に深く関わり、大きな役割を果たしている一方、その価値が社会に十分伝わっていない現状を強く感じています。

理学療法士は極めて価値の高い専門職でありながら、その専門性や成果が診療報酬・介護報酬、さらには社会的評価に十分反映されているとは言い難い状況にあります。今後は、理学療法士の専門性と成果を「見える化」し、適切な評価と報酬の引き上げへと結び付けていく取り組みが不可欠です。

また、近年顕在化している組織率低下に対しても強い危機感を持っています。リハビリテーション専門職における職能団体の活動の意味や価値を、会員のみならず会員外にも発信し、「所属する意義」を実感できる仕組みづくりが求められています。私はこれまで培ってきた現場感覚と組織運営の経験を生かし、大阪府理学療法士会員の声を日本理学療法士会代議員として発信し、次世代が誇りを持って働ける環境を築くため、その責務を果たす決意で立候補いたしました。



氏名 梅山 和也  
氏名ふりがな うめやま かずや  
都道府県士会 大阪府  
年齢 34  
勤務先名称 大東中央病院

### 日本理学療法協会活動歴

### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

### 立候補の趣旨

理学療法士として臨床に携わる中で、「この悩みは自分だけのものではない」と感じる場面を多く経験してきました。新人から中堅期にかけて、患者さんと向き合いながらも、判断や将来に迷い、不安を抱えて働いている理学療法士が少なくないことを、日々の現場で実感しています。

私は急性期病院に勤務し、臨床に加えて新人・若手教育、研究活動、地域連携に関わってきました。その中で、現場の声を全国の議論につなげていく役割の必要性を強く感じるようになりました。

全国代議員として私が最も重視したいのは、新人から中堅期にかけての育成と支援です。この時期を支えることが、臨床の質の向上や、研究・地域連携の基盤につながると考えています。すべての課題を同時に解決することはできないからこそ、この層への支援を最優先に据えたいと考えています。

研究活動を通じて、日常臨床の疑問を言語化し共有することが、判断の質を高めると学びました。また、地域連携は役割や視点を整理することで、より円滑になると実感してきました。

全国代議員には、現場の声を整理し、優先順位を明確にしたうえで、協会が扱うべき論点を示す責任があると考えています。臨床・教育・研究・地域連携の経験を基に、現場と協会をつなぐ責任ある橋渡し役として役割を果たしたいと考え、立候補いたしました。



氏名 田箆 慶一  
氏名ふりがな たごもり けいいち  
都道府県士会 大阪府  
年齢 48  
勤務先名称 増原クリニック

#### 日本理学療法協会活動歴

2025年度 第60回日本理学療法学会準備委員会企画局 部員

#### 都道府県理学療法士（協）会活動歴

2017～2018年度 (公社)大阪府理学療法士会調査資料部 部長  
2019～2022年度 (一社)大阪府理学療法士会生涯学習センター学術誌編集部  
部長  
2023～2024年度 (一社)大阪府理学療法士会生涯学習センター研修部 部長  
2021～2024年度 (一社)大阪府理学療法士会生涯学習センター生涯学習局 局長  
2025年度～ (一社)大阪府理学療法士会生涯学習センター 理事

#### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

#### 立候補の趣旨

私は、2017年度より公益社団法人大阪府理学療法士会での活動を始め、2019年度からは一般社団法人大阪府理学療法士会生涯学習センターで、主に府士会員の生涯学習に関する事業に携わってきました。2022年度より日本理学療法士協会の新生涯学習制度が始まり、大阪府理学療法士会生涯学習センターでもそれに準じ研修会等を多数企画・開催してきましたが、本制度の周知や会員の理解はまだ十分でないと感じます。どんなに良い制度でも浸透しなければ絵に描いた餅に終わり、目的である専門職としての質の向上が果たせないだけでなく、会員率の低下にも繋がってしまいます。現在、協会が取り組むべき課題は多々ありますが、教育と学習の支援制度は職能団体である本会にとっては人材育成と団体存続の根幹に当たるものだと考えます。誰もが安心して自己研鑽できる、より良い生涯学習制度に発展させるべく、協会と会員との橋渡し役として尽力したいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



氏名 杉本 明文  
氏名ふりがな すぎもとあきふみ  
都道府県士会 大阪府  
年齢 49  
勤務先名称 藍野大学

#### 日本理学療法協会活動歴

2020～2022 (公社)日本理学療法士協会 代議員  
2024～2026 (公社)日本理学療法士協会 代議員

#### 都道府県理学療法士(協)会活動歴

2009～2010 ニュース編集部 副部長  
2011～2018 ニュース編集部 部長  
2019～現在 (公社)大阪府理学療法士会 事務局担当理事

#### 学会連合及び同連合会員団体活動歴

#### 立候補の趣旨

この度、日本理学療法士協会の代議員に立候補させていただきました杉本明文と申します。これまで大阪府理学療法士会の理事として、また日本理学療法士協会の代議員として、協会運営に関わらせていただいております。

近年、理学療法士を取り巻く環境は大きく変化しており、協会においても新入会員数の減少や、制度・仕組みの複雑化など、さまざまな課題が指摘されています。また、医療提供体制の見直しなどを含め、理学療法士の役割や働く環境にも変化が生じつつあります。さらに、2026年には診療報酬改定を控えており、今後の動向について正確な情報を共有していくことの重要性は、これまで以上に高まっていると感じています。このような状況の中で、協会から発信される情報は増加し、その内容も専門的かつ多岐にわたっています。一方で、情報は出ているが、十分に理解しきれないと感じておられる会員の方も少なくないのではないのでしょうか。私はこれまでの広報・運営に携わった経験を踏まえながら、協会からの情報を整理し、できるだけわかりやすい形で会員の皆様にお伝えするとともに、現場で感じておられる声やご意見を丁寧にすくい上げ、協会に届ける役割を担いたいと考えております。代議員として、一方通行ではない双方向の情報共有を大切にし、会員の皆様が協会の取り組みを理解し、関心を持ち続けられるような環境づくりに努めてまいります。

引き続き、皆様とともに協会の歩みを支えていければ幸いです。どうかお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。